

- ☆平和行動in広島
- ☆平和行動in長崎
- ☆埼玉県知事選挙
- ☆埼玉県最低賃金の改正決定について／9月の行動予定表
- ☆あけぼのビル

# 語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう

## 2019平和行動in広島・in長崎

### 平和行動in広島

8月4日(日)～6日(火)に、「平和行動in広島」が開催され、連合埼玉からは12名が参加した。初日は呉市にある「てつものくじら館」「大和ミュージアム」を見学。2日目は、午前中に爆心地から最も近い学校として大きな被害を受けた本川小学校の平和資料館や広島平和記念公園、平和資料館を見学し、午後からは原爆投下時、広島市内を走っていて被爆するも、現在でも使用されている路面電車に乗車し、連合広島青年委員会のピースガイダンスを受けながら広島市内の被爆地を車窓から見学した。夕方は、連合主催の「平和ヒロシマ集会」「平和シンポジウム」に参加し、被爆体験証言やNPT再検討会議にむけた取り組みを確認した。最終日(8月6日)には広島市が開催した平和記念式典に参加した。

1945年8月6日に落とされた1発の原爆により、広島は一瞬にして焼野原となった。74年経った今もなお、被曝の後遺症に悩んでいる人もい。私たちは、これまでの運動を継承し、戦争の実相を次世代へ語り継ぐとともに、平和を願うすべての力を結集し、政府や国際社会に対し核兵器廃絶を強く訴え、恒久平和の実現をめざしていく。



平和行動in広島

### 平和行動in長崎

8月8日(木)～10日(土)に「連合平和行動in長崎」が開催され、連合埼玉から12名が参加した。8日は、連合主催(原水禁・KAKKIN共催)の「2019平和ナガサキ集会」に参加し、爆心地から500mの城山町で被爆された奥村アヤ子氏の何十年経っても消えることのない苦難の体験を聞き、また、近年の核兵器をめぐる国際情勢についての報告を受けた。8月9日には「長崎原爆犠牲者慰霊平和式典」に参加し、原爆投下時刻の11時02分に全員で黙とうをおこなった。午後からは「長崎原爆資料館」の見学と、爆心地公園にて連合長崎青年委員会の皆さんより被爆当時の遺品や石碑の説明をうけながら散策するピースウォークに参加した。また夕方からは、万灯流しに参加し、各々の思いを書き込んだ万灯を浦上川に流した。

原爆は、一瞬にして多くの尊い命を奪い、その後も放射線による障害などにより極めて多くの人々の心と体に決して癒えることのない傷跡を残してしまう兵器だ。私たちが今回見聞きし、学んだ原爆被害を伝えることにより、原爆という非人道的兵器の廃絶と世界平和にむけて、運動を継続していかなければならない。



平和行動in長崎

日程		in 広島	参加者
1日目(8/4)	<p>■ピースウォーク① 時間 15:30~18:00 会場 てつのおくじら館、大和ミュージアム</p>		<p>尾崎 眞道 (自動車総連/ホンダモーターサイクルジャパン労働組合) 木下 勝己 (JAM埼玉/シチズン労働組合埼玉支部) 高橋 誠 (情報労連/ウィンテック労働組合) 後藤 翔太 (情報労連/新和ユニオン) 河井 智也 (運輸労連/熊谷通運労働組合) 濱田 浩 (さいたま市地域協議会/日本ピストンリング労働組合) 石井 裕嗣 (川口・戸田・蕨地域協議会/凸版印刷労働組合TJK支部) 初田 和樹 (県央地域協議会/桶川市職員労働組合) 持田 佳史 (熊谷・深谷・寄居地域協議会/JFE建材労働組合熊谷支部) 荒明 総一 (連合埼玉青年委員会/JP労組埼玉連絡協議会) 牧 純子 (連合埼玉女性委員会/椿本チエイン労働組合) 近藤 正人 (連合埼玉副事務局長)</p>
2日目(8/5)	<p>■ピースウォーク② 時間 9:30~12:00 会場 本川小学校平和資料館、平和公園 平和記念資料館</p> <p>■被爆路面電車乗車学習会 時間 13:00~15:00 会場 広島駅~広島港~原爆ドーム前</p> <p>■連合2019平和ヒロシマ集会・平和シンポジウム 時間 16:00~19:10 会場 広島上野学園ホール</p> <p>■連合・死没者慰霊式 時間 19:40~20:10 会場 広島平和記念公園 原爆ドーム前</p>		
3日目(8/6)	<p>■「原爆死没者慰霊式・平和祈念式典」(広島市主催) 時間 8:00~ 会場 広島市平和記念公園 原爆慰霊碑前</p>		

①平和行動に参加したのは何回目ですか? ②感想

①初めて

②本川小学校や平和記念資料館の見学を通じ、核兵器の恐ろしさを学び、恒久的な平和のために我々にできることが何なのか、改めて考えさせられる機会となった。また、世界に核兵器が存在している限り、いつ同じような惨劇が繰り返されてもおかしくない状況であり、今も極めて危険な状態に晒されていることを認識することが出来た。大切な人を一瞬で奪った悲惨な事実を繰り返さないためにも、我々参加者が主体的に後世へ語り継いでいくことがとても重要で、私も大切な家族や大切な職場の仲間へ積極的に伝えていく。当り前の日常に感謝し、身近な人に寄り添い助け合い、小さな「大切」を積み上げて、平和な世界の実現に寄与したいと考える。



尾崎眞道

①初めて

②今回参加して感じた事は、一瞬にして多くの命を奪う核兵器は、やはりあってはならないと思うが、エネルギーとしての核は、現代社会においては、なくてはならないものではないかと私は思う。この矛盾を抱えながら令和という時代、国際秩序と世界平和について改めて考えていきたいと感じた。



木下勝己

①初めて

②原爆被爆国唯一の日本国、1945年8月6日から今年で74年を経た今なお被爆の後遺症に苦しんでいる方々、それを知る多くの親族や関係者の心の傷は決して癒えるものではなく、日々苦しみを続けていることを改めて実感した。そんな中で自分自身が『できることは何か?』と考えたとき、絶対にこのようなことを風化させてはならない、二度と繰り返してはならない、と強く感じた。できることをやるのは微力かもしれないけれど、決して無力ではないという思いを持ち続け、後世に伝え続けなければならないと強く心に感じた。



後藤翔太

①2回目

②十数年ぶりに訪れた広島の街並みは、以前訪れた時と変わらず、活気ある街並みを感じた。しかし、今なお残されている被爆建物たちは、そうでは無かった時代の様相を発信し続けている。改めてその地を訪れ、生々しい情景を受け止めながら、写真を撮っている時、ふと違和感を覚えた。時代は進み世の中は発展していき、もちろん広島の街も発展している。目の前の被爆建物たちを写しているのは、小型カメラもしくはスマートフォン。それを伝える手段はメール・SNS等。その時代の進化に追いつく為か、原爆ドームは夜にライトアップされている。そんな時代の流れと共に、平和を取り戻した広島が軽視されてしまうのでは無いか? そうならない為にも、後世へは責任感を持って伝えていかなくてはならないと強く感じた。



高橋誠

①初めて

②広島では命の尊さを五感で強く感じる事ができた。74年前に投下された原爆では一瞬にして広島の町を壊滅的に破壊し、大勢の人々が犠牲となり、生き残った人々も心身ともに大きな傷を受けた。特に心に突き刺さったのは、罪のない幼い子どもも犠牲になった事だ。私にも、まだ幼い子どもが2人いるが重ね合わせて考えると胸が詰まる。我々は、戦争の悲惨さや虚しさを風化させる事なく後世に継承し、世界中の誰もが幸せに生きられるために祈り、身近な小さい事からでも平和行動に積極的に取り組もうと思う。



河井智也



路面電車学習会

①3回目

②広島平和記念公園内にある死没者慰霊碑には、「安らかに眠って下さい、過ちは繰返しませぬから」と刻まれている。世界で唯一の被爆国として私達が出来る事は、原爆の悲惨さを国内外へ広く伝え、過ちを二度繰り返さない、過去を未来にしない事である。改めて核兵器の脅威と平和の尊さを実感したと共に、今後も多くの皆様に参加いただく事を切に願う。



濱田浩

①初めて

②戦争当時の広島を平和記念資料館や本川小学校を見学し、また市内の路面電車に乗って説明を聞きながら当時を想像してみた。聞いただけでは分からない現地で見ることができて、その悲惨さは想像以上だった。今ある平和を継続して世界へ発信できるのは「日本」だけだと思う。ボタン一つで核兵器ミサイルが飛んでくる時代に、今できることを少しでも多くの人に感じてもらい、将来にわたり世界が平和であることを願いたい。



石井裕嗣

①初めて

②広島原爆ドームや原爆記念資料館には過去に1度見学に訪れたことがありました。当時はまだ結婚もしていなかったが、今回は子どもを持つ父親の観点から参加させてもらった。被爆した本川小学校の写真で遊ぶ子どもたちの写真と同じ場所に立ち、原爆ドームを見上げた時、74年前の子どもたちはどんなことを考えていたのか、自分が、自分の子どもが、もし、そこにいたら何を感じるのか。思いを馳せ胸が苦しくなった。我々が今回の平和行動に参加し「何か」を変えられることはないと思う。ただ、「自分」が変わることはできる。ひとりひとりの「自分」が変わることが平和への道なのではないだろうか。



初田和樹

①初めて

②私の中で特に印象に残ったのが、広島平和記念資料館である。資料館に掲示されていた絵画や写真を目の当たりにし、激しい衝撃を受け、原爆の無残さや悲惨さを痛感させられた。今回体験した事を身近にいる多くの人に伝え、原爆によって未だに苦しんでいる人達がいる、その苦しんでいる人達を勇気付け、助けようとしている人達が数多くいる。離れた場所で起きた事だから関係がないではなく、関心を持った上で、離れた場所からでも出来る事はあると言う事を考え、組合員全員で平和の意味をもう一度、考え直すきっかけに出来たら良いなと思った。



持田佳史



平和ヒロシマ集会



本川小学校平和資料館の見学



折り鶴献納



「連合・死没者慰霊式」での献花

①初めて

②戦後74年たっても海での機雷処理や陸地での爆弾処理をしている中、未だに14450発の核爆弾が世界に存在していることに驚いた。そして今なお被爆者が放射線障害に苦しんでいる方がいること、原子爆弾の怖さ、威力があることがわかり悲惨なことが伝わってきた。そして広島市の学生が平和大使として海外で署名活動や戦争の脅威を広める活動をしていること、語り部のみなさんも世界で活躍していることで74年間核爆弾が使われていない事実も今回の平和行動で知ることができた。この事を自分からも後世に伝えていくべき事で風化させない努力をしていくことが大事である。



荒明総一

①初めて

②平和行動に参加し一番感じたことは「平和の尊さ」だった。広島に行くこと、平和行動に参加することも初めてで「何が学べるか」とても不安だったが、1日目、2日目と見学やシンポジウムに参加するにつれ、先の大戦がいかに激しく辛く、悲しい出来事だったが痛感した。特に資料館では被爆した人の写真、衣服、生活用品、被爆者の絵を見学し胸が苦しくなった。もし自分がその場に居たら、大切な人が居なくなってしまうらと考えた時、とても悔しい気持ちになり「二度と戦争をおこしてはいけない」と感じた。今回学んだこと、感じたことを、平和の尊さを風化させてはいけないと強く感じた。



牧純子

日程

in 長崎

参加者

1日目(8/8) ■連合2019平和ナガサキ集会・平和シンポジウム  
 時間 15:00~17:30  
 会場 長崎県立総合体育館・メインアリーナ

2日目(8/9) ■長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典  
 時間 10:30~11:45  
 会場 長崎市平和公園  
 ■ピースウォーク  
 時間 14:45~16:00  
 会場 原爆落下中心地公園・長崎市平和公園  
 ■万灯流し(原爆殉難者慰霊奉賛会主催・連合協賛)  
 時間 19:00~20:00  
 会場 市営陸上競技場・浦上川

杉田玄太郎 (UAゼンセン/武州製菓ユニオン)  
 中里 誠一 (UAゼンセン/LIXILビバ労働組合)  
 徳田 聡 (JAM埼玉/アールケー・ジャパン労働組合)  
 小笠原 崇 (川越・西入間地域協議会/東京電力労働組合川越支部)  
 西田 裕二 (朝霞・東入間地域協議会/東京電力労働組合志木支部)  
 山下 洋史 (比企地域協議会/川島町職員組合)  
 田辺 勝弘 (西部第四地域協議会/JP労組埼玉支部)  
 斉藤 裕 (東部地域協議会/SSUA上州屋労働組合)  
 斎藤 昭博 (東部地域協議会/東京電力労働組合春日部支部)  
 寺田 直樹 (北埼玉地域協議会/明和グラビア労働組合)  
 伏見美千代 (連合埼玉女性委員会/花菱縫製労働組合)  
 芳賀 剛志 (連合埼玉副事務局長)

①初めて

②今ある平和のありがたさに感謝しなければならぬと感じた。原爆資料館を訪れた際、当時の映像や遺品、被害に遭われた方々の写真が展示してあり、たった74年前に、このようなことが実際にあったのかと思うと、恐ろしくなった。それと同時に、この出来事決して忘れることなく、今後繰り返すようなことがあってはならないと強く感じた。私は戦争を経験していない世代になるので、今ある平和が当たり前で、今まで平和について考えることはほとんどなかったが、今回の平和行動に参加し、平和について考える機会を得られたことは、私にとって貴重な経験となった。



杉田玄太郎

①初めて

②「人間1人あたり、約100kgの火薬がその頭上にある。講演の中で最もショッキングな言葉だった。世界の人々は「今、そこにある危機」にどれだけ無頓着なのだろうか。わかっていても、知っていても「見て見ぬふり」をしているのだろうか。今回の平和行動に参加して「核兵器」は改めて喫緊の課題であると再認識した。



中里誠一

①初めて

②参加する前、被爆された方の証言で、原爆による被爆後の状況は桁外れと述べられていたのをテレビで視聴した。ピースウォークで感じたことは、74年前この場所は想像を計り知れない状況になり、それは戦争と原子爆弾投下といった人間の誤った行動が引き起こした人災の悲しい結末で、多くの尊い命が一瞬で奪われたことを改めて再認識した。8月9日の平和祈念式典で、被爆者代表の方が平和への誓いの言葉を述べられた後の拍手は一際大きく感じた。また、高校生平和大使、ナガサキ・ユース代表団の活動は、平和行動で初めて知った。同時に連合の平和4行動、連合、原水禁、KAKKINの3団体の恒久平和実現を目指す取り組みを知り、自身の平和、原爆に対する視野が広がった。



徳田聡



平和ナガサキ集会

①4回目

②昨年に「平和行動in広島」に参加していたので、事前学習や原爆の被害の凄惨さに対する心構えは出来ていたが、改めて原爆資料館等で当時の出来事を絵画・文書・映像等で確認すると非常に生々しく、子どもに見せたらPTSDになるのではないかと思った。例えば、原爆投下により超高温で黒炭化した人らしき物体、高熱や爆撃により傷ついた皮膚に群がるウジ虫、投下後3~4ヶ月後にケロイド状になった皮膚、赤く染まった川に浮かぶ無数の死体等、まさに地獄絵図。このような惨事を引き起こした戦争および核爆弾の使用は、二度と起こしてはならないと強く思った。



小笠原崇

①2回目

②「ナガサキを最後の被爆地に」今回の平和行動で、何度も耳にした言葉だ。今回、爆心地から500mの場所で被爆された奥村さんのお話を伺うことができた。あたりまえの幸せな日常が戦争によって理不尽に一方的に奪われ、家族を失った後の幼い弟との過酷な日々のお話は、ややもすれば物語の一説を聞いているような錯覚に陥るが、すべて実際に起こった事実である。奥村さんは被爆体験談を「平和の原点は人の痛みがわかる心を持つこと」という言葉で締め括った。この言葉がとても印象に残っている。今回学んだ戦禍の惨劇を、自分のこととして考え、「ナガサキを最後の被爆地に」という長崎のみなさんの想いを風化させることなく、日本全国、そして、世界の恒久平和へと繋げていけるよう、組合活動や地域活動を通じて多くの方に伝えていきたい。



西田裕二

①初めて

②被爆74年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列し、いまでテレビの画面を通してしか知らなかった、被爆者、ご遺族並びに市民の皆様への核の被害を体験した街として、二度と戦争を、この経験をさせてはならないという強い思いを感じられた。また、被爆者の方々が高齢化している中、平和祈念式典では、高校生が司会を務め、小・中学生が参列し、平和ナガサキ集會では、ナガサキ・ユース代表団、高校生平和大使と若者による平和活動が大変強く感じた。核兵器廃絶と恒久平和の実現に向け、平和行動に参加して得た事を1人でも多くの方に伝えたいと思う。



山下洋史

①初めて

②平和行動に参加して被爆者の話を聞いたり、原爆資料館などを見学して改めて核兵器の恐ろしさを知った。二度とこのような悲劇を繰り返さないよう、核兵器廃絶に向けて自分なりにできることをやりたいと思う。また機会があったら参加したいと思う。



田辺勝弘



折り鶴献納



万灯に思いを込める



ピースウォーク



参加者のみなさん

①初めて

②平和行動に参加して改めて「核の恐ろしさ・悲惨さ」などを実感することができた。そして今でも苦しんでいる人達が、そのことを実体験として伝えられる人が年々少なくなっている。連合の仲間が全国から集まり「核廃絶」を訴え続けること。集會に集まっていた高校生たちの「微力だけど無力ではない」という言葉信じ、私たちが平和行動をする意味を再認識し、全世界から核がなくなる日まで、これからも継続していかねばならないと感じた。



齊藤裕

①5回目

②戦後74年。改めて「平和」の尊さ・有難さを感じた。原爆の悲惨さは、自分自身が感じるだけでなく、確実に後世に伝えていかねばならないと思う。私たちは、報道を通じて戦争の悲惨さは知る機会はある。しかし、自分自身がその場所を訪れ、「感じる」事が一番であると思う。戦争は、ましてや原爆は永遠に消えることのない深い悲しみを生む以外に、何ら人類にとって得するものはない。そのためにも、悲惨な戦争は絶対に起こしてはいけないと感じずにはいられなかった。平和であることに感謝し、その平和を守るため大切に生きなければならぬ事を誓った。



斎藤昭博

①初めて

②毎年この時期になると平和祈念式典や終戦記念日をテレビで拝見し、「平和」「核兵器廃絶」等について考えさせられていた。平和行動in長崎に参加して、祈念式典への参加、被爆者の方の生の声、原爆資料館見学等するなかで、戦争の悲惨さ、核兵器廃絶の必要性和平和の大切さを改めて感じた。恒久平和の実現に向け、平和の尊さを家族や職場の仲間達にも伝えていくことが、この平和行動に参加した私たちの使命だと強く感じた。



寺田直樹

①初めて

②印象に残ったのは現長崎市長のお言葉で、「原爆は、人の手によって作られ人の上に落とされた。だからこそ人の意志によってなくすことができる」と確かに作ったのは人で落としたのも人。実際に原爆資料館や戦争を体験された方の話を聞くと原爆・戦争の悲惨さが…。戦争を知らない私ですが、二度と繰り返してはいけない事、そして話は語り続けていかねばいけないと思った。



伏見美千代

# 働く者・生活者の視点に立った県政の継承と発展

連合埼玉推薦 大野もとひろ氏初当選!



埼玉県知事選挙が8月8日に告示、25日投開票でおこなわれ、連合埼玉が推薦した大野もとひろ氏は17日間にわたる真夏の熱い選挙戦を勝ち抜き、初当選を果たした。

今回の知事選挙は、埼玉県の今後4年間のかじ取り役を決める選挙であるとともに、現職の上田知事が勇退することで、これまでの働く者・生活者の立場にたった県政が継承されるかどうかが決まる大切な選挙であった。

16年ぶりに5人の新人同士による選挙戦は、大野氏と与党が推薦するスポーツライターとの事実上の一騎打ちとなり、激しい選挙戦が展開された。参

議院議員を9年務めた大野氏は「今までの16年間を後戻りさせてはならない。県民重視、県民が主役の施策でさらに発展」と全面的な支援を受けた上田知事県政の継承、発展を訴えた。

大きな課題として認識されていた投票率については、32.31%と決して高い数字ではないものの、知事選挙において3割を超える投票率は16年ぶりとなった。

今回の知事選では、猛暑の中、構成組織・加盟組合および地域協議会の役員・組合員の皆さんに昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたことに心から御礼申し上げます。

## 知事選挙開票結果 (有権者数6,052,273 投票者数1,955,274 投票率32.31%)

氏名	年齢	得票数	得票率
大野 もとひろ	55	923,482	47.87%
青島 けんた	61	866,021	44.89%
浜田 聡	42	64,182	3.33%
武田 信弘	65	40,631	2.11%
櫻井 志津江	63	34,768	1.80%

## 令和元年度 埼玉県最低賃金の改正決定について

埼玉地方最低賃金審議会は、本年7月5日(金)に埼玉労働局長から「埼玉県最低賃金の改正決定について」の諮問を受け、埼玉県最低賃金専門部会を設置し調査審議をおこなってきた。この審議会は本年7月31日(水)に中央最低賃金審議会より示された「令和元年度地域別最低賃金額改定の目安に関する公益委員見解」等を踏まえ、公労使での真摯かつ慎重な審議の結果、8月5日(月)に埼玉労働局長に対し、埼玉県最低賃金額を「時間額926円」とする旨の答申をおこなった。

この時間額926円は、現行の埼玉県最低賃金(898円)を「28円」引き上げるもので、上昇率は3.12%であり、時間額で決まるようになった平成14年度以降では、上昇率・上昇額共に最大の引上げ幅である。今後、諸手続きを経て本年10月1日より効力を発生する予定となっている。

### 【参考:埼玉県最低賃金額及び対前年度上昇率・上昇額】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
時間額	871円	898円	926円
対前年度上昇額	26円	27円	28円
対前年度上昇率	3.08%	3.10%	3.12%

### 現在予定される9月の日程表です

9月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 日	青年委員会「ユースラリー」(8/31～9/1・秩父赤谷温泉ネクストオジカ)	埼玉労福協「2019浜通りのスタディーツアー」(～9/2・福島県)
2日 月		
3日 火	第2回地協議長・事務局長会議(14:00～・あけぼのビル)	労福協東部ブロック「2019ライフサポート経験交流」(14:00～ 9/4・高崎ワシントンホテルプラザ)
4日 水	組合役員教育プログラムスキルアップ②(10:00～・あけぼのビル)	
5日 木		埼玉労協協議会(10:00～・ときわ会館)
6日 金	平和行動in根室(～8日・根室市)	熊谷・深谷・寄居地域協議会「第5回幹事会」(18:15～・ネット21 熊谷)
7日 土	ネット21「東部地域セミナー」(13:30～・越谷市中央公民館)	電機連合埼玉地協「第59回定期大会」(13:00～・さいたま共済会館)
8日 日		
9日 月		運輸労連埼玉県連「第52回定期大会」(13:30～・さいたま市民会館おおみや)
10日 火	第10回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・こくみん共済coop)	
11日 水	組合役員教育プログラムスキルアップ②(10:00～・あけぼのビル)	健康経営セミナー(13:30～16:30・大宮ソニックシティ)
12日 木		秩父地域協議会「第10回幹事会」(18:00～・勤労者福祉センター)
13日 金		①JP労組埼玉連絡協議会「第12回定期連絡総会」(13:00～・ラフレさいたま) ②連合関東ブロック連絡会「代表者会議」(14:00～・ホテルラングウッド)
14日 土	組合役員教育プログラムスキルアップ②(13:00～・あけぼのビル)	
15日 日	青年委員会「連合群馬青年委員会との青年交流会」(14:30～ 16日12:00・伊香保温泉)	連合関東ブロック連絡会「第28回海外交流視察団」(～9/20・モンゴル)
16日 月		
17日 火	①政策制度県要請提出(10:00～・知事室) ②男女平等参画推進「トピックスセミナー」(大宮ソニックシティ)	
18日 水		
19日 木		2019年度こくみん共済coopセミナー(14:00～・ラフレさいたま)
20日 金	第29回チャリティーゴルフ大会(おおむらさきゴルフ倶楽部)	
21日 土	①ネット21「北部地域セミナー」(13:30～・熊谷市立勤労会館) ②災害ボランティア救援隊「隊員研修(中級)」(あけぼのビル)	
22日 日		
23日 月		
24日 火	①「働き方改革セミナー」(14:00～17:00・埼玉会館) ②第8回官公労部門連絡会(18:30～・連合埼玉会議室)	①連合関東ブロック「2019女性代表者会議」(12:30～・連合会館) ②連合「第5回構成組織・地方連合会女性代表者会議」(14:00～・連合会館)
25日 水	①埼玉シニア連合「第5回四役会・第6回幹事会」(13:00～・14:00～・連合埼玉会議室) ②女性委員会「第7回幹事会」(18:30～・連合埼玉会議室)	
26日 木	第4回ライフサポートステーション運営会議(15:30～・連合埼玉会議室)	
27日 金		①電機連合埼玉地協「東日本大震災」ならびに「熊本県を中心とする九州地震」復興支援 第26回チャリティーゴルフ大会(東松山カントリークラブ) ②連合関東ブロック連絡会「政策フォーラム」(13:30～・川口リリア)
28日 土		
29日 日		
30日 月		北埼玉地域協議会「第7回幹事会」(18:30～・羽生市民プラザ地下)

Akebono Building  
あけぼのビル

事務局長 | 佐藤 道明 |

### ◆「大野もとひろ」知事誕生

任期満了に伴う埼玉県知事選挙は8月25日に投票がおこなわれ、連合埼玉が推薦する無所属新人で主要野党の県組織が支援する元参院議員の大野もとひろ候補が、92万3482票(得票率47.91%)を獲得し、86万6021票(得票率44.9%)を獲得した無所属でスポーツライターの青島健太候補(自民、公明推薦)ら新人4人を破り、初当選を果たした。

小生も20時過ぎに大野事務所に入り「当確」が出るのを待っていた。22時10分ごろ、「当確」の一報が大野事務所に伝わると、大野知事誕生を祝いたいと集まった多くの支持者の拍手と歓声が沸いた。猛暑の中、選挙焼けした大野候補が顔をほころばせながら事務所に入ると、支持者からの「大野コール」、そして勝利の万歳へと続き、喜びを爆発させた。

参院選後初めてとなる知事選は事実上、与野党が推す候補による一騎打ちとなった。立憲民主、国民民主、社民各党の県組織が支持し、共産党県委員会が自主的に支援する大野もとひろ候補は、支援を受けた立憲民主党、国民民主党、社民党、共産党などの支持層を固めると同時に、自民党支持層にも食い込み、支持政党を持たない無党派層からも多くの支持を集めた。この勝利は、次期衆院選に臨むにあたり大きな展望を切り開くものとなる。明確なビジョンを掲げ、野党が連携して戦うことが次期衆院選の勝利、さらには政権交代へとつながるものと考えられる。

### ◆上田県政「継承と発展」

知名度が青島候補に劣る大野候補は、ひたすら駅に立ち続け、知名度アップと政策を訴えた。防衛大臣政務官を務め、中東情勢専門家として危機管理にも携わった政治経験をアピールし、公休を取って県内を一緒に回るなど全面的に支援を続けた「応援団長」上田清司知事の影響もあり、課題の知名度を上げていった。4期16年で財政再建などに取り組んだ上田知事の実績を示し、「今までの16年間を後戻りさせてはならない。県民重視、県民を主語にした施策でさらに発展させる」と、全面的な支援を受けた上田氏の県政の「継承と発展」を強調した。エネルギーの地産地消やコンパクトシティーなどを核とするまちづくり構想、少子高齢化対策や健康、子育て、災害・防犯、都内からの鉄道延伸など12分野128項目の政策を提示し、「日本一暮らしやすい埼玉を実現する」と主張した。

一方、元プロ野球選手でスポーツライターの青島候補は高い知名度があり、選挙戦を優位に進めているとみられていたが、大野候補の猛追を振り切ることができなかった。告示前から自民党の二階俊博幹事長と岸田文雄政調会長が応援に入り、告示後も閣僚や党幹部

が連日訪れた。菅義偉官房長官は告示前と告示後の2度にわたって県内入りし、千葉県の森田健作知事ら他県の知事も応援に駆けつけるなど、組織戦を展開した。

### ◆32.31%低投票率の中での戦い

投票率は32.31%と、前回4年前(26.63%)より5.68ポイント上回り、16年ぶりに30%台となった。知事選の投票率は2011年に24.89%で全国の知事選で史上最低を記録するなど、直近の3回は20%台に低迷していた。30%台に回復したとは言え、喜べる投票率ではないことは言うまでもない。

県選挙管理委員会が25日発表した知事選の9~24日までの期日前投票者数は、4年前の前回知事選の同時期と比べ、22万1564人増の53万6312人だった。選挙人名簿登録者数に占める8.74%だった。前回知事選の同時期と比べ、増加数が多かった市町村は1位が川口市(1万4921人増)、2位が越谷市(1万1250人増)、3位が上尾市(9528人増)。増加率が高かった市町村は、1位が桶川市(3.10倍)、2位が三郷市(2.34倍)、3位が久喜市(2.16倍)だった。

大野候補と青島候補の得票差は5万7461票である。大野候補の地元である川口市の選挙結果は、大野候補7万7776票、青島候補4万8523票であり、2万9253票の大差をつけている。また、さいたま市では岩槻区で808票下回ったものの、大野候補17万9165票、青島候補15万1271票と、2万7894票上回っている。

県内63市町村の結果を見ると、40市の内、大野候補が27市で、青島候補が13市で勝利。22町・1村の結果では、大野候補が8町で勝利し、青島候補は14町・1村で勝利している。63市町村全体では、大野候補が35自治体で勝利している。特に有権者数の多い市で勝利できたことは、ひたすら駅に立ち続けたことが勝因なのかもしれない。

### ◆支援の一つひとつの積み重ね

連合埼玉は総力を挙げて17日間戦い抜いた。構成組織・加盟組合には、9万2000枚の法定ビラへの証紙貼り、法定はがきの対応、個人演説会への動員、7万4000枚の確認団体ビラのポスティングなどの支援をいただいた。地域協議会には、公営掲示板へのポスター貼り、個人演説会への動員、朝夕の駅立ちなどの支援をいただいた。

何よりも各級役員からの組合員への「大野もとひろ」周知活動や投票行動の徹底は、選挙戦序盤から報道各社による厳しい情勢が報じられたにもかかわらず、大野もとひろ候補の当選に向け、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたすべての構成組織・加盟組合・支部・分会の役員の皆さん、地域協議会の役員の皆さん、そして組合員の皆様のご支援の一つひとつの積み重ねが、大野もとひろ埼玉県知事を誕生させた大きな勝因と確信する。

大野候補にご支援をいただいた連合埼玉推薦議員をはじめ各級議員の皆さんにも改めて敬意を表し感謝申し上げます。

2019.8.26